メルマガをスムーズに立ち上げる行動リスト

■事前準備

No.	行動	内容
1	競合・ライバル・成功者のメルマガを読んでリサーチする。	良いメルマガを書けるようになるには、良いメルマガをたくさん読むことです。評判の良いメルマガを10人分は読んでリサーチしましょう。
2	メルマガのメインテーマを決める	競合・ライバルリサーチから、自分のメインテーマを決定しましょう。あなたが得意なこと＆興味を持っていることを、誰に伝えるのかを決めます。
3	メルマガ配信スタンドを比較検討し、申し込む	私が比較検討した結果、初級レベルで一番のオススメは「Auto Biz」（オートビズ）です。お手頃、お手軽に使えます。申込は下記※を参照してください。
4	メルマガを始めることを宣言する	メルマガを始動し続けるための大事な儀式です。開始してすぐに読んでもらうためにも重要なステップです。色々なメディアで宣言しましょう。
5	メルマガ配信スタンドの基本的な使い方を理解する	メルマガ配信スタンドを契約したら、「初めての方はこちら」の解説を読んで、設定を進めましょう。
6	シナリオ名を決め、登録フォームを作る	1テーマ毎にシナリオを作成し、入口となる登録フォーム、確認ページ、完了ページを作ります。
7	送信者の基本設定をする	送信者名、送信者メールアドレス、署名等を設定します。
8	登録時サンクスメールを作る	メルマガへの登録時に返信されるサンクスメールを作ります。このメールが最も読まれるメールです。

※「Auto Biz」（オートビズ）の詳細はコチラをご確認ください。→https://goo.gl/SA6XQY

初心者にオススメのプランは「ライト」3,240円/月。機能的には十分で、ステップメールが15シナリオも作れます。

■記事準備

No.	行動	内容
9	誰に向けて書くのかを決める	「この人！」という一人を決めます。一人だけに明確なメッセージを送った方が多くの人の心をつかむメッセージになります。
10	何について書くのかをイメージする	記事のカテゴリをいくつか決めておきます。ネタ探しのアンテナを立てフォーカスされるので、自然とネタを集めることができます。
11	何のために書くのかを決めておく	自分にとってメルマガを書き続けた先の意味づけをします。大きな未来のビジョンにつながっていると継続が楽になります。
12	思いつく限りの時事ネタを洗い出す	現時点で書きたいと思うネタをリストアップしておきます。ネタを導き出すイメージの練習になり、頭の整理にもなります。
13	1通目を配信する前に10記事ほど予備で書きためておく	習慣が身に付く前の予備に10記事ほど書きためておきます。「書く」ための準備運動にもなります。
14	メルマガ記事のテンプレートを作っておく	毎回ゼロから書き始めるのは大変です。記事の構成のテンプレートがあると楽になります。行動喚起テンプレートがオススメです。
15	必要な作業をいつやるか決める	1週間分のネタ決め、記事のメインメッセージ＆仮タイトル決め、1週間分の記事をザックリと書く、てにをは直し、配信＆テストの日時を決める
16	応援してくれる人のリストを作る	メルマガオープン時に見込客を紹介してくれる人（キーマン）をリストアップします。
17	ネタを記録するシステムを準備する	日々のメルマガネタを蓄積するメモ帳・手帳・記録システム等を準備します。思いついたらすぐに記録し、定期的に整理します。
18	日々ネタを探す	フォーカスしたテーマで、日々、メルマガのネタになりそうな事柄・ニュース等をストックしておきます。
19	1週間分の記事テーマを決める	毎週決めた日時に、1週間分のメルマガ記事テーマを決めてしまいます。ストックしているネタリストからピックアップします。

■記事作成＆発信

No.	行動	内容
20	読んだ後のアクションを決める	記事を読み終えた後に何をして欲しいのかを決めます。 自分を振り返る、アンケートに答える、返信など。
21	ワンメッセージを決める	記事の中で最も伝えたいこと（ワンメッセージ）を決めます。 書く際にはこれを常に意識することになります。
22	記事を書く（ライティング）	前段で決めたことに沿って、ひたすら書きます。文法の間違いなどは無視して書き続けます。時間を区切ると効率が上がります。
23	記事を見直す（エディティング）	読み手により伝わる文章、響く単語に置き換えていきます。感情の動きを意識し、行動させる文章にします。
24	てにをは＆誤字脱字を直す	最終的な「てにをは＆誤字脱字」のチェックを行い、修正します。
25	タイトル＆冒頭のチェック	メルマガに最も重要な、惹きつけるタイトル、読ませたくなる冒頭になっているかをチェックします。
26	テスト配信	自分のメールアドレスにテスト配信します。特にスマホでの表示が崩れていないかをチェックします。
27	配信セット	対象者、配信日時を的確にセットします。
28	自分で登録	自分が第一号のメルマガ読者となり、一連の流れをテストします。置き換え文字などが間違えていないかもチェックします。
29	メルマガを宣伝	リストアップしたキーマンにメルマガオープンのお知らせをして拡散してもらいます。自身の各種メディアでもオープンの告知をします。
30	自分を褒める	特に最初のうちは、習慣化するまでが精神的な負荷が大きいものとなります。出来た自分をしっかりと褒め称えてあげましょう！